

スペイン語に親しむ教材 ¡Hola Español!

Spanish Teaching Materials for Kids. ¡Hola Español!

上江洲 アマンダ

指導教員 西野 隆司

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 値値創造研究室

キーワード：スペイン語、幼児期、類似部分、教材

1. 研究目的

私の研究目的は、スペイン語に興味を持つてもらうことである。
これから日本にとって、スペイン語圏である中南米がますます重要になってくる。
なぜかと言うと、日本の産業が生き残っていく上では、新たな市場の開拓が必須で、近年では中南米の開拓が進んでいるからだ。
しかし、中南米は、意外と英語が通じない。
そこでさらなる開拓をするためにはこれからスペイン語が求められる。
以上のことからスペイン語に興味を持つてもらい、将来の日本で役にたっていただこうと思う

2. 調査内容

①世界から見たスペイン語

：図 1



図 1 は、赤はスペイン語が公用語となっている国、水色は公用語ではないが話者が多い国を示している。2017 年のデータによると、世界で最も話者数が多い言語は中国語で 9 億 5000 万人、2 番目がスペイン語で 4 億 7700 万人となっている。これらのことから近年では、将来性のある言語だ。スペイン語を学ぶべきだ。と言われている。

②幼児期の言語教育

2・3 歳は歌や絵本などの音から慣れしむことが大切であり、4・5 歳はネイティブに触れるなど、体験を通した学習が大切だということがわかった。

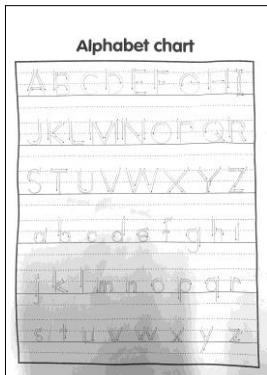
現状調査として、近隣にある町田サレジオ幼稚園で行われている英語の授業を見学させていただいた。

サレジオ高専でも英語の非常勤講師をしている Paul McCann 先生が 30 分間の授業を年長、年中、年少の各クラスに年間 8 回ずつ行っている。そのうちの年長の授業を見学させていただいた。

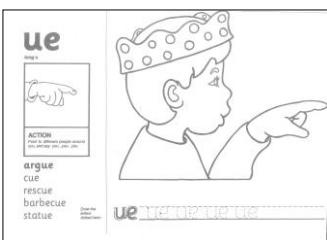
McCann 先生は小学校ではカタカナ発音しか知らないことが多い、母音を強く発音してしまい、正しい発音が入りづらくなるから小学校に入る前に正しい英語の発音を教えることを徹底していると言っていた。

また、授業では以下のようなプリントを使用していた。

: プリント 1



: プリント 2



プリント 1 でローマ字を正しい書き順で読みながらなぞり、プリント 2 では正しい発音を学びながらイラストの塗り絵をしていた。

そこから園児達はローマ字の正しい書き方と発音が分かるということ。

文字、塗り絵共にたくさんの色を使いカラフルにしたがる。ということがわかった。

授業では声に出しながら書く。声に出しながらジェスチャーをとり入れ、動く。
ということが徹底されていた。

3. アイデア展開

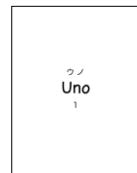
本格的な上級レベルの教材ではなくあくまでもスペイン語に興味を持つてもらうための初步的な幼児向け教材を製作していく。

①かるた

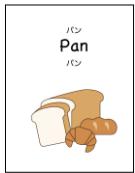
日本語とスペイン語の類似部分を使用し、日本語と同じ読みで違う意味を持つ単語や、日本で耳にすることのある単語、スペイン語由来である日本語、耳に残りやすい単語を集めてかるたにした。

札の例としては以下のようになっている。

: 札 1



: 札 2



: 札 3



札 1 は耳にする単語で、カードゲームの名前にも使われている Uno。Uno はスペイン語で 1 という意味。札 2 はスペイン語由来である日本語の札で、パン。札 3 は耳に残る単語の札。鶏を指す Pollo。

②絵本

簡単な内容で、かるたの中で使用した単語を取り入れたものを製作予定。今はまだ参考となる、日本語の幼児向け絵本や、スペイン語の幼児向け絵本を読んでいる段階。

4. 今後の課題

今後の予定として、かるたの読み札をイントネーションが分かるように可視化し、修正。絵本のストーリー考案・製作。それぞれの作品を持って幼稚園にて実験。結果をもとに修正。を考えている。

5. 参考文献

- Instituto Cervantes Juan Manuel Bonet (2017)
- ECC <https://foreignlang.ecc.co.jp>
(2019. 7. 14)
- スペイン語ラーニング
<https://spanish-learning.jp>
(2019. 6. 25)
- EXPAT
<https://courrier.jp/expat/>
(2019. 6. 25)